

前期基本計画 平成29年度 基本施策方針書

政 策：04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策：07 効率的な汚水処理施設の整備

主管課長職・氏名	下水道課長 齋藤 誠司
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	公共下水道事業と浄化槽整設置備補助事業について、各々の機能、経済性、採算性等を考慮しながら、整備と維持・改修をバランスよく進めることにより、市民の快適で衛生的な暮らしを確保し、合わせて公共用水域の環境保全を図ります。
--	--

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 水洗化率(行政区域内人口に対する合併浄化槽も含めた水洗化率) 単位 %	76.7	77.5	78.5	79.5	80.4	81.3	-	
			82.5	0	-	-	-	0.0	
2	幸福 滝沢市に愛着を持っている人の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	-	
			72.3	0	-	-	-	0.0	
	単位								

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 04070100 環境にやさしく快適な下水道の整備 水洗化率(行政区域内人口に対する合併浄化槽も含めた水洗化率) 単位 %	76.7	77.5	78.5	79.5	80.4	81.3	-	
			82.5	0	-	-	-	0.0	
2	幸福 04070100 環境にやさしく快適な下水道の整備 滝沢市に愛着を持っている人の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	-	
			72.3	0	-	-	-	0.0	
3	暮らし 04070200 下水道経営基盤の充実 経営資本営業利益率 単位 %	1	△1.1	△1.1	△1.1	△0.7	△0.7	-	
			0.5	0	-	-	-	0.0	
4	幸福 04070200 下水道経営基盤の充実 滝沢市に愛着を持っている人の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	-	
			72.3	0	-	-	-	0.0	
	単位								

前期基本計画 平成29年度 基本施策方針書

政 策：04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策：07 効率的な汚水処理施設の整備

主管課長職・氏名	下水道課長 齋藤 誠司
関係課長職・氏名	

2. 基本施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 基本施策目標の進捗状況分析

- 平成27年度末の行政人口に対する下水道供用開始可能人口の割合を表す汚水処理人口普及率は、公共下水道で65.6%、合併処理浄化槽や団地ごとの集合処理施設で16.8%で、全体で82.5%となっています。
- 平成27年度に、農業集落排水事業を公共下水道事業に統合し効率化を図るとともに、公共下水道事業に地方公営企業会計を適用しました。

(2) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

- 少子高齢化や節水型社会による使用料収入の減少、景気の低迷等による接続率や収納率の低下が懸念される中、下水道施設の長寿命化、漏水対策に備えていく必要があり、国の補助金等もこれらにシフトしていくと見込まれます。
- 全国的に、下水道事業等に地方公営企業会計の適用と分析、公表、概ね10年をめどとする汚水処理施設整備の概成プランの策定等が求められています。

(3) 政策との関連性

効率的な汚水処理施設の整備を推進し、水洗化による快適で衛生的な暮らしと良好な水環境の保全を確保することにより、政策である「ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します」の実現を図ります。

3. 基本施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 基本施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

- 公共下水道と合併処理浄化槽の最適な配分による汚水処理を推進するとともに、老朽化が進む既存の公共下水道の適正な維持と改修を目指します。
- 具体的な戦略として、合併処理浄化槽設置に係る助成、融資あっせんなどによる普及率の向上と施設の効率的利用を図ります。
- 公共下水道の整備や維持には多額の費用を要するため、費用対効果を重視した面的整備、雨水等の浸入抑制、供用開始後の確実な使用料の回収やコスト縮減などによる経営合理化を推進し、経営基盤の確立や安定的経営の維持に取り組みます。

(2) 基本計画期間内の取り組みと方針のうち、平成29年度の重点課題

- 経費及び工事コストの縮減に引き続き取り組みます。
- 下水道使用料や受益者負担金などの収納率の向上に取り組みます。
- 費用対効果と接続見込み調査等により今後10年間の整備計画や維持管理計画などを策定し推進に取り組みます。
- 公営企業会計の経営分析により、着実な経営基盤の確立に努めます。

(3) 基本計画期間及び平成29年度重点課題に基づく優先順位の考え方

コスト縮減を最優先とし、費用対効果と住民の意向による効率的な整備を推進します。
また、持続可能な下水道経営を実現と負担の公平性の確保の観点から、下水道使用料や受益者負担金などの収納を徹底します。

